



たくましい村松っ子

9月の生活目標：あいさつ名人になろう

令和8年9月17日 第10号
文責：校長 日高 文博

役割をもたせるということ

アメリカ先住民では、「人は幸せをもたらすために生まれてきた」と考えられています。そして、人は一生の間に3つの「ありがとう」を言われるのだそうです。

一つ目は、《バースデー（誕生）》

赤ちゃんは、人に幸せをもたらすために、遠い国からやってきた存在だと考えられています。そのため、生まれてきたときに、「ありがとう」と迎え入れられるのです。

二つ目は、《リ・バース（再誕生）》

人は成長するにしたがって、その人の役割が発揮されていきます。そうした特徴をその人の名前にします。例えば「グッドハンター（狩り名人）」、「メディスンマン（薬草を見つける名人）」などです。みんなの役に立つようになり、「ありがとう」と祝福されるのです。

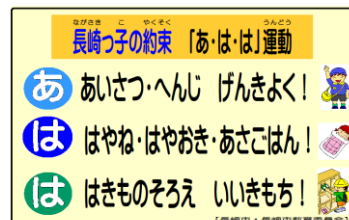
三つめは、《ギブ・アウェイ（与え尽くす）》

幸せをもたらすために人はやってきたのですから、人は死を迎えるとき「幸せを与え尽くした」と考えられます。だから、死を迎えた人に最後の「ありがとう」を送るのです。

一つ目と三つ目は、生と死への考え方だと言えますが、二つ目は、人としての生き方が問われているように思います。「役に立つ」、「役割をもつ」ことが、人が生きる上で大切であるとの教えです。

また、アフリカ内陸地を移動するセスナの後部座席には、「緊急時の心得」が貼ってあり、不時着をして助けを待つ場合の5か条が書かれてあり、3番目には「全員に仕事をもたせなさい」とあります。厳しいアフリカの自然を生き抜くためには、「役割」をもって過ごすことがどうしても必要だということです。自分だけよくてはダメ、役割をもち、周りから必要とされる存在にならなければ、人は「生き抜くことができない」、そうした教えがここにはあります。

子どもがよりよく成長するということは、集団や社会の中で役割をもち、他者と関わって生きていくということです。そうした目で子どもを見ることも、私たち大人の役割なのでしょう。



夏休み作品展

9月3日（木）～7日（月）に夏休み作品展を開催しました。どの学年も力作ぞろいで子どもたちのがんばりや工夫が伝わってきました。子どもたちも友達の作品に見入っていました。夏休み中、保護者の皆様の励ましやアドバイスもあったことと思います。ありがとうございました。



クラブ活動

村松小学校には、共通の興味や関心を追求する活動を自発的・自治的に行い、望ましい人間関係の形成と個性の伸長を図る目的として、クラブ活動が実施されています。4・5・6年生の子どもたちが年間7回、火曜日の6校時に楽しい活動をしています。今年度は10月、11月、1月の残り3回です。クラブ名を紹介します。



- ①体育館運動 ②卓球・バドミントン ③スクラッチ ④運動場ボールゲーム・ターゲットボッチャ ⑤もの作り
⑥読書・マンガ作り ⑦室内ゲーム ⑧一輪車・カード ⑨ダンス ⑩さいほう・手話 ⑪折り紙・切り絵

※画像は個人が特定されないように処理しています。